

# 宮城県感染症発生動向調査情報

2023.2.6 ~ 2023.2.12 - 第6週 -

令和05年02月16日発行

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第3週	第4週	第5週	第6週
水痘				1		1	2	26				
				0.13		0.04	0.03					
流行性耳下腺炎						1	1	6				
						0.04	0.02					
感染性胃腸炎	31	61	85	44	2	406	629	2,458	◎	◎	◎	◎
	7.75	6.10	12.14	5.50	1.00	15.04	10.84					
手足口病							0	5				
							0.00					
伝染性紅斑		1					1	6				
		0.10					0.02					
突発性発しん	2	4	1	2	1	4	14	88				
	0.50	0.40	0.14	0.25	0.50	0.15	0.24					
ヘルパンギーナ							0	0				
							0.00					
インフルエンザ	89	65	27	18	6	196	401	1,654	◎	◎	◎	◎
	12.71	4.06	2.45	1.38	1.50	4.45	4.22					
咽頭結膜熱	1		1	3		4	9	46				
	0.25		0.14	0.38		0.15	0.16					
流行性角結膜炎						3	3	13				
						0.50	0.25					
急性出血性結膜炎							0	0				
							0.00					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		14	1	1		9	25	97		○	レ	○
		1.40	0.14	0.13		0.33	0.43					
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	1				
							0.00					
無菌性髄膜炎							0	0				
							0.00					
マイコプラズマ肺炎							0	3				
							0.00					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0	0				
							0.00					
RSウイルス感染症	3			14		7	24	159	○	○	レ	
	0.75			1.75		0.26	0.41					
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0	0				
							0.00					
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)											
	川崎病											
	不明発疹症					4						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 4例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))  
仙台管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: アメーバ赤痢  
仙台管内 男性1名(第5週)  
侵袭性インフルエンザ菌感染症  
仙台管内 男性1名  
梅毒  
仙台管内 男性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)  
宮城県(仙台市を除く) 2,087名  
仙台市 1,456名

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南管内で注意報レベルを継続中です。

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

新型コロナウイルス感染症患者より  
石巻管内 第6週採取分 SARS-CoV-2 1件  
気仙沼管内 第6週採取分 SARS-CoV-2 8件  
感染性胃腸炎患者より  
塩釜管内 第5週採取分 ノロウイルスGⅡ群 5件  
大崎管内 第5週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第3週採取分 (1.16~1.22)	第4週採取分 (1.23~1.29)	第5週採取分 (1.30~2.5)
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	1件	1件
Aデングウイルス	0件	1件	0件

## 4. 今週のコメント

【新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ】

県内の第6週の新型コロナウイルス感染症患者数は3,543名と6週連続で減少しています。「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」は2月13日で終了しましたが、新規感染者の発生は続いているので今後も動向に注意してください。一方で、インフルエンザ患者数は401名で前週よりやや増加しています。県は2月9日にインフルエンザ注意報を発令し、予防対策の徹底を呼びかけています。新型コロナウイルス感染症、インフルエンザともに基本的な感染対策が有効なので、引き続き感染対策の徹底に努めてください。

【感染性胃腸炎】

県内の定点医療機関からの患者報告数は前週の584名から629名に増加しています。特に仙台管内の患者数が多く、宮城野区では第6週に警報開始基準値20を超えました。宮城県保健環境センター及び仙台市衛生研究所に搬入された感染性胃腸炎の検体からはノロウイルスやサボウイルスが検出されており、更なる感染拡大が予想されます。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢などを主な症状とし、例年、冬季に流行のピークを迎えることから、今後の動向に注意が必要です。感染者の便や吐物の処理には次亜塩素酸ナトリウム溶液(薄めた塩素系漂白剤)し、調理・食事の手洗いなど、日常生活での予防対策を徹底してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

